

易主義（國際主義）は破産して、若しく經濟國家主義の色彩濃厚とされる事實。  
二、機械の發達と資本主義的生産方法は、生産過剰、失業者の増大を主み、その世界恐慌は、資本主義的方法によつて克服されず、資本主義の改造は、單に労働階級の攻撃的スローガンに止まらず、各階級を通じての企圖とされる事實。  
二の二つである。

## 二、自由貿易主義の破産

曾て世界の工場を以て任じたる英國は、全世界到る處の津々浦々に自由貿易主義の旗印の下に「良品安價」をもつて侵略し、これを民族的、國家的見地から拒否するものは、自由貿易の敵として、その後突むる英國海軍の爆撃を受けたりである。

かくして自由の名の下に「陽の没せざる國」英國は資本主義と共に榮えたのであつた。

しかるに一九一四年、新興國獨逸との衝突は歐洲大戰と成つたが、獨逸の敗退により再び經濟霸權は英、佛を中心とするヨーロッパのものとなるべく考へられてゐたが、

事實はソレの崩壊の市鐘であつた。

即ちその一つは戰時既にその基礎を固めたアメリカの發展であり、その二は、ロシアの共產主義化である。

それでは日本と英國と首班とする商權は世界の隅々に伸張して行つた。しかるに最近日本を先頭とする後進國の工業的躍進は、遂に先進國の商權を蠶食し始めた。

二、今まで來ると資本主義の華であつた英國も、自由貿易の一枚看板で「良品安價」の世界侵略が出来ないばかりか、反つて侵略される危険がある。否、既に既得權を侵略されつゝあるのである。

茲に於てヨーロッパの經濟霸權は崩れやつとしてゐる。曾て正義の旗印であり、武器であつた自由貿易主義は棄て、省みられず、関稅牆壁の防線陣は張りねつゝあるのである。

しかもその関稅は、單なる保護関稅の程度では勿論なく、禁止的関稅や輸出入割當制などであつて、各國家又は經濟ブロックを單位に、物々交換的且、相互協定にまで